



北小っ子だより

甲州市立塩山北小学校
学校だより 第 6号
令和5年10月27日
(文責：中村 裕司)

東山梨音楽発表会

26日、甲州市民文化会館において「東山梨音楽発表会」が開かれました。北小は5年生が参加しました。

発表会に向けては、外部講師の落合先生に2回にわたり指導を受けました。2回目の指導時に、様子を見せてもらいました。合唱曲は、2部合唱になるところのハーモニーが非常にきれいでした。そのあとの高音部と低音部の掛け合いも、高音側がきれいにできてとても楽しく聞けました。

合奏は3拍子の曲です。落合先生によると、日本人のリズム感は2拍子や4拍子が根底にあるから、意外と難しいとおっしゃっていました。が、たどたどしさはあるものの、それぞれがリズムにのって演奏しているように感じました。

そして、発表会。2日前からすると、さらにレベルアップした演奏になっていました。素敵な合唱と合奏でした。ステージから降りるときの表情は、みんな「やり遂げた」感があったように感じました。演奏の様子は、後日CATVで放映されますので、しばらくお待ちください。



サツマイモ・豊作！

25日に、2年生がサツマイモの収穫を行いました。

通常よりちょっと遅い時期に植えた苗は、この夏の高温に負けるところか、元気に茎を伸ばして育ちました。そのおかげで、株によっては、結構な大きさの芋が5本以上ついているものもありました。形も個性派ぞろい。まん丸に近い物や、「ザ・さつまいも」といった形のもの、大人の両手でも届かないくらいの太さのものまでありました。

収穫したサツマイモの一部は、焼き芋にして2年生に味わってもらおうと計画しています。



24日は「霜降」でした。

二十四節季では、「霜が降りる頃」とされる時期です。温暖化の影響でしょうか、さすがに霜は降りないものの、朝夕の気温の低さには秋の深まりを感じます。



市内、または県内各地の小中学校で、インフルエンザによる学級閉鎖の情報が

入ってきています。天気も良く、日中には温かい日差しがあるので温かくさわやかなのですが、さわやかさのよきの空気が乾燥していることが、インフルエンザの感染を増やしている要因の一つではないかと思われま

す。インフルエンザの感染がかなり広がっています。近隣では、学級閉鎖の情報も届いています。峡東地域には注意情報が出されました。インフルエンザなどの感染症の予防にご協力をお願いします。

◇キャリア教育

キャリア教育については、文部科学省の資料では次のように説明されています。(一部を抜粋)

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育(中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」(平成23年1月31日))

キャリア教育は、子ども・若者がキャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成を目標とする教育的働きかけである。そして、キャリアの形成にとって重要なのは、自らの力で生き方を選択していくことができるよう必要な能力や態度を身に付けることにある。したがって、キャリア教育は、子ども・若者一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必



要な能力や態度を育てることを目指すものである。自分が自分として生きるために、「学び続けたい」「働き続けたい」と強く願い、それを実現させていく姿がキャリア教育の目指す子ども・若者の姿なのである。

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2011/06/16/1306818_04.pdf

今回、自分の将来について何かしら考えることができるようになるきっかけとして、また、外国語（英語）を学ぶ意味を考えてもらうため、10月4日に、5・6年生に英語が話せることで、自分自身の世界が広がる可能性があるということを感じてもらうための授業を実施しました。



講師として、外資系の航空会社にCAとして勤務していた小野田れいさんに、英語を学ぼうとしたきっかけや、勤務していた時の様子、外国での生活の様子などを話していただきました。多くの写真を用意してもらい、映像からもたくさんのお話を学んだと思います。子どもの知識や感覚では知り得ないような世界の広さを感じてもらえたのではないかと思います。

運動会へのご協力ありがとうございました。

10月1日には、運動会が1日延期での実施となりましたが、秋の日差しの中で、子どもたちは力いっぱいの演技・競技をすることができました。

各学年のたよりで、それぞれの学年での取り組みや、成果、子どもたちの感想などが届けられていることともありますが、ほとんどが充実した運動会だったことが読み取れるものでした。

また、実施後のアンケートへの回答ありがとうございました。

アンケートの記載内容から、学校としての回答が必要と思われるものもありましたので、この場を借りてお答えします。

◇半日での開催について◇

これはPTA役員会ではお伝えしたのですが、次の点において半日開催とすることを決めました。①子どもたちの体力等の負荷をある程度軽減する。（取り組み時間の削減や運動会当日の負担軽減、高温対策等）②出番（種目）が4つ確保できている（高学年は係活動もある）ので、発表や活躍の場面は確保できている。③年間の教育課程におけるバランスを考慮。（運動会に多大な時間をかけられない。）④昨年の感想からは1日開催を望む内容はわずかであった。

◇過去取り組んだ種目の復活◇

これは、前述の③にも関係します。例えば、「鼓笛行進」については、5・6年生は、年間50時間しかない音楽の時間の2割程度（約10時間）の時間を費やさなければならないこと。（学習指導要領で示された内容を履修しきれない恐れがある）、全校での練習も4～6時間は必要になる。（取り組み期間がさらに長くなる。）コロナ禍の3年間のブランクで、子どもたちに経験として身に付いているものがない実態ではさらに時間が必要になることから、実施は見送りました。

また、その他の競技については、組体操の事故をきっかけに、危険防止の観点での競技選定が求められているなど、選択しにくい競技もあります。

◇今後の取組等への提言◇

来年度の実施に向けて、成果と課題を精査して立案に向けて検討します。

25日の朝、校門のすぐ西側の桜に、8輪ほどの花が咲いているのに気づきました。桜の開花には、冬の休眠期が必要とされていますが、残暑が収まりやっと秋らしくなったこの時期では、寒さの中での休眠期はなかったはず。「一体どうなってるんだろう?」「落葉が早すぎたのが関係しているのだろうか?」など、この既知の概念との矛盾。「探究型の学習の入り口としては面白い疑問だ」と独り言が出た朝でした

